

2017 年度事業報告書

◎はじめに

弊社は「人と人をつないで社会的課題を解決すること」を目指し、ボランティアニーズのマッチング、独身者の交流促進、そして孤独死防止の三事業を実施してきました。

今年度は、弊社にとって大きな意味を持つ二つの展開を行いました。

一つ目は、関東地方でもお独り様会のサービス提供を始めたことです。東京に合同会社を設立し、弊社にノウハウ利用料を支払う契約のもと、2017年11月から交流会やオフ会を開催しています。

二つ目は、2013年度からお独り様会の会員さまに限ってサービス提供してきた孤独死防止サービス(旧名・着信確認サービス)を日本郵便の助成により全国の一般の方にも無料提供を始めたことです。いずれも、地域(北海道)を超えたサービス提供であり、全国的に評価を受けられたことで拡大しております。

2015年度計画書においてお独り様会の全国展開模索を明記してから3年、道外展開の第一歩を踏み出しました。私たち北海道における社会的課題の多くは全国にも共通しています。先進的なオリジナル事業として、全国の方々のためにもしっかりと事業展開を行っていきます。

1. ボランティアニーズマッチング

A. 月刊ボラナビ

札幌市内近郊の市民団体や障がいのある個人のボランティア募集情報を掲載した無料誌です。4月号～3月号(224-235号)を発行しました。毎月の部数は15,000部でした。無料掲載したボランティア情報は27(前年比7増)、有料掲載したNPO情報は31(前年比7減)でした。紙面構成は、無料ボランティア・イベント情報、有料情報(NPO/一般社団・組合・学校法人等の非営利法人/企業・行政)、NPOの法務と税務の疑問に専門家が答える「NPOの?(ハテナ)」です。

B. ボラナビ・サーチなど(インターネット広報)

検索サイト「ボラナビ・サーチ」と、メール通知機能「ボラナビ・アラート」を備えた北海道のボランティア総合サイトです。検索語句「北海道 ボランティア」では、マイクロソフトBINGで1位、グーグル、ヤフーで5位となり、アクセスは、月間PV22万(2月)～38万(12月)を推移しました。サーチは3月末時点で3226件(昨年2949から277件増加)登録されており、弊社のサイトで最もアクセスを集めています。アラートの登録数は304(新規登録15件、昨年比24減)です。

C. 市民活動団体支援

- ・ セルフヘルプの輪は、北海道で活動する自助グループのリンク集です。3月末で66団体を掲載しています。
- ・ 出張芸は、福祉施設を芸でボランティアとして慰問する個人や団体のコーナーです。3月末で45人・団体を掲載しています(今年度の新規登録は1団体)。
- ・ 北海道お茶の間めぐりは、地域の居場所づくりの取り組みを特集するコーナーです。札幌市社会福祉協議会さまの協力により、昨年から300近い増加となる700件の情報を登録しています。

2. お独り様会

A. 概要

- ・ 20歳以上の独身者を対象にした会員制事業で、独身者の孤立防止と課題解決を目的としています。毎月の会報誌「しゃぼん玉ノート」で会員さまの経験や想いを共有し、直接会員さま同士がお会いできる交流会やオフ会を企画しています。
- ・ 11月より、東京でもお独り様会を始めました。弊社代表者が設立した法人に事務局作業を委託し運営をサポートしています。
- ・ お独り様会の会員さま数は、4月スタート時は216人(北海道のみ)、年度末は244人(北海道と東京)でした。北海道と東京等の内訳後述。
- ・ 会員様の交流会やオフ会を112回実施し、参加はのべ1464人(実人員273人)でした。北海道と東京等の内訳後述。
- ・ マスコミ等の掲載や広告
2017年3月 北海道新聞社刊 書籍「60歳からの生き生き術」内で紹介。
2017年10月7日 北海道新聞夕刊「道内発『お独り様会』東京でも」。
2017年11月 東京フリーペーパーPoco' ce(ポコチェ)「『独身』という共通点で繋がる会」。
2017年11月4日 読売新聞朝刊全国版「老後つながり求めて」。
2017年12月27日 exicite(エキサイト)ニュース「独身者の友人作りを支援する『お独り様会』とは？」。
2018年1月 東京都北区社会福祉協議会 広報誌「きたふくし」。
2018年3月 東京都文京区社会福祉協議会 広報誌「文社協だより」。
2018年3月5日 北海道新聞朝刊「独身者で交流 孤立感解消」。
- ・ ホームページに弊社と親交のあるプロの漫画家たなかしんこさんにご協力いただきお独り様会の漫画をサイトにアップしました。



B. 北海道おひとり様会

- ・ 4月スタート時の会員様数は216人、年度末は194人でした(22人減)。
- ・ 会員様が交流する交流会やオフ会を96回(事務局87回、会員様有志9回)実施し、参加のべ1284人(実人員205人)でした。
- ・ 交流会に体験参加された非会員様は女性89人、男性58人でした。
- ・ 会員様同士の個別交流をサポートする「ハガキ転送サービス」の総利用数は16枚でした。

C. 東京おひとり様会

- ・ 11月スタート時の会員様数は27人、3月は50人でした(23人増)。
- ・ 会員様が交流する交流会やオフ会を16回(事務局14回、会員様有志2回)実施し、参加のべ180人(実人員68人)でした。
- ・ 交流会に体験参加された非会員様は女性19人、男性13人でした。

3. 孤独死防止サービス事業

- ・ 孤独死防止サービスは、週に一度、希望者に弊社の無人電話に連絡をしてもらい、その着信記録をメールで確認します(NTT東日本のひかり電話「着信お知らせメール」を利用)。利用者と連絡がつかなかった際は、各利用者が事前に登録する、別居の家族や大家等、緊急連絡先者に弊社から連絡します。利用者に対する実際の安否確認行動は、各利用者の緊急連絡先者が行なうため、札幌市に所在する弊社が全国の方を対象にサービス提供できる仕組みです。
- ・ 2017年度年賀寄付金助成を受け、おひとり様会会員限定だった対象を広げ、全国の一般の方にして事業を実施し、登録者は2018年3月末時点で11人でした。
- ・ マスコミ等の掲載
 2017年9月13日 女性向け情報サイト bitomos「孤独死を防ぐサービスって？」
 2017年11月7日 毎日新聞朝刊「高齢者の孤独死防止～札幌のNPO安否確認サービス開始」
 2018年1月9日 北海道新聞朝刊「地域で見守り 孤立死防止」

以上